



南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成27年7月17日

校長 福田 俊彦

自分で創る夏休みの学習・生活

校長 福田 俊彦

いよいよ夏休みが始まります。子供たちは、学習面・生活面でいろいろな計画を立てていることでしょう。この夏休みは、自分の学習や生活を踏まえ、9月の生活・学習につなげていく期間となります。担任との個人面談の内容、お子さんと話し合った内容をもとに、夏休みの目標を具体的に立てられるようにしていただければ幸いです。

さて、夏休みには、夏季水泳指導、学習に関する補充教室、開放指導員・保護者・地域の方々のご支援をもとに行われる校庭開放や図書開放、総合運動場で行われるラジオ体操などが予定されています。子供たちが誘い合って参加し、多くの方々とのかかわりの中で、自分の成長につなげられるようご配慮をいただければと思います。登校時には、「自動車や自転車に注意して安全に行く。」「時間に遅れない。」「行き帰りに寄り道をしない。」など、安全に向けた一言もお願いします。

また、家庭、地域で過ごす時間が長くなる夏休みです。子供は、より高い社会性や自立性を身に付ける機会にもなります。しかし、子供たちを取り巻く環境は、安全なものばかりではありません。危険が考えられる場面もあります。学校では「自分の命は自分で守る」という意識を高め、危険を回避する力を身に付ける指導を積み重ねてきました。交通安全教室、セーフティ教室、情報モラル講習会（5年生・保護者）、避難訓練や一斉防災訓練、学級活動における夏休みの安全な過ごし方の学習などです。夏休みにおいても、「自分の命は自分で守る」という意識を継続してもてるよう以下の点についてお話をしていただければと思います。

- 防犯ブザーを携行する
- 「いかのおすし」の行動ができる
- できるだけ複数で行動する
- 家に入る前、エレベーターに乗る前には周りを見る
- 正しい自転車の乗り方、正しい道の渡り方をする
- インターネット、携帯電話などによるトラブルにあわない

南町小学校の子供を「みんなの子供」として、見守っていただけることをお願いいたします。